

「赤レンガ」

【平成29年度・第3号(秋号)】

発行:倉敷市立児島市民病院広報委員会・地域医療連携室

発行月:平成29年11月



～ 基本理念と基本方針 ～

<基本理念>

- ・市民に信頼される地域の中核病院を目指す。
- ・人間味あふれる温かな医療を実践する病院を目指す。

<基本方針>

- ・市民が利用しやすくかつ患者中心の良質な医療を公平に提供するよう努める。
- ・地域の中核病院として市民のニーズに応え、初期・二次救急医療、小児の夜間救急の充実に努める。
- ・採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、公立病院として地域医療の確保に努める。
- ・市民の健康保持と福祉の増進を図るため、予防医療の充実に努める。
- ・地域医療の向上のための病診連携を図り、病床の一部を開放病床とする。
- ・病院の健全経営に努め市民の信頼に応える。
- ・疾病構造の変化に対応し得る医療体制の整備に努める。

<目次>

- ・表紙「当院基本理念・基本方針」
- ・「緩和ケア内科の立ち上げと緩和ケア病棟開設について」
- ・「医療トピックス」
- ・「トワイライトセミナー」
- ・新人紹介
- ・栄養だより
- ・連携のひろば「倉敷シルバーナーシングホーム」
- ・外来診療予定表

「緩和ケア内科の立ち上げと緩和ケア病棟開設について」

緩和ケア内科医長 古口 契児

「緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるように支えていくケアのことです。」

これは、2013年12月に日本緩和医療学会が発表した「市民に向けた緩和ケアの説明文」です。この様な緩和ケアを児島の地で実現することを目指して、当院で緩和ケア内科が拡充されることになりました。



申し遅れましたが、10/1付で岡山大学病院緩和支援医療科より当院緩和ケア内科に異動となった古口です。これまでも週1回の外勤日に緩和ケア外来と緩和ケアチームのサポートをしてきましたが、10月からは常勤として赴任して緩和ケア内科の立ち上げと来年新病院での緩和ケア病棟開設準備に当たることとなりました。以下に、当院緩和ケア内科の目指す緩和ケア外来と緩和ケア病棟についてお伝えしたいと思います。

まず緩和ケア外来ですが、わかりやすく言えば「がんに伴う苦痛を緩和することを専門とした外来」です。がんと診断された時から全人的苦痛（身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛）は始まりますので、早い段階から緩和ケア外来でも併診させていただければと願っています。早期からの介入により本人のQOL（quality of life：生活の質＝その人らしく生きる）が改善されて予後にも良い影響があるということが報告されています。がん治療中から関わることで、治療に伴う副作用の苦痛緩和・意思決定支援・療養の場の相談等でお役に立てると思います。ぜひとも、緩和ケア外来を予約し受診してくださることをお勧めします。

次に、緩和ケア病棟とは「症状コントロールの難しい事例をお受けして、専門的入院緩和ケアにより苦痛を緩和するための積極的治療を施行し、苦痛緩和の後には住み慣れたご自宅や地域（施設等）に戻っていただくための病棟」です。決して看取りのための病棟ではなく、終の棲家でもありません。在宅ケアチームとの連携により、安心・安全な在宅緩和ケアも提供したいと願っています。また、緩和ケア病棟の特長の一つは多職種によるチーム医療を提供することです。現在でも院内緩和ケアチームは、医師・看護師・薬剤師・リハビリ専門職・栄養士・医療ソーシャルワーカーのメンバーにより構成されており、本人とご家族を中心として周囲から包み込む様なチーム医療を提供しています。緩和ケア病棟でも多職種が関わっていきましますし、さらには歯科衛生士・臨床心理士・ボランティア等も加わってくれることを願っています。

なお、緩和ケアをさらに理解して頂くためのWebサイトを以下にご紹介しますので、ぜひ参照ください。

では、「いつでもどこでも切れ目のない質の高い緩和ケア」を地域の皆様に提供する事を目標としますので、どうか宜しく願いいたします。緩和ケアを上手く利用していただき、がんと共存しながら苦痛なく本人らしく生き抜いていただくことのお手伝いをしたいと願っています。当院の緩和ケア内科そして新病院に開設される緩和ケア病棟を、どうか宜しく願いいたします。

【日本緩和医療学会】 <http://www.jspm.ne.jp/>

【日本緩和医療薬学会】 <http://jpps.umin.jp/>

【日本ホスピス緩和ケア協会】 <http://www.hpcj.org/>

【日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団】 <http://www.hospat.org/>

【緩和ケア.net】 <http://www.kanwacare.net/>

【国立がん研究センターがん情報サービス】 <http://ganjoho.jp/>

【岡山がんサポート情報】 <http://www.pref.okayama.jp/hoken/cancer/>

【野の花プロジェクト】 <http://www.nonohana-okayama.org/>





医療トピック

「最新のマンモグラフィー検査について」

当院の敷地内で新しい市民病院の建設が着々と進んでいます。新病院への移転に伴って最新医療機器の導入も検討されており、乳房X線撮影装置つまりマンモグラフィーも更新する予定です。しかも今回検討しているのは古くなってきた撮影装置の単なる置き換えではなく、これまでにない機能を持った新しい検査装置の導入を考えています。

乳癌検診への関心の高まりから当院で乳癌検診を受けられる方が年々増えています。また近隣の医療機関で検診を受けてマンモグラフィーは当院で受けられるという方も大勢いらっしゃいます。せっかく時間をつくって検診を受けに来ていただくのですから私たちもよりよい検診を目指したいのです。

より良い乳癌検診とはどういったものでしょうか。痛くないとか時間がかからないとか、負担の少ないものが多いと思われている方もいるかもしれません。でも市民の皆さんを守るという本来の目的から考えると、病気があったらできるだけ見つけることができること（感度が高いといいます）と、病気がなければ安心させてくれること（特異度が高いといいます）の二つが両立していることが大切なのです。残念ながら現在行われている検診がこれらの点で理想的な精度を持っているとはいえないのも事実です。まだまだ努力すべきことがたくさんありますので、技術革新をとりいれてより良い検診システムをつくっていかねばならないのです。

さて、日本人女性の乳癌の発症は30代後半から増え始めて、40代後半から50代前半にピークが来ることがわかっています。疫学調査からは40歳以上の女性においてマンモグラフィー検診の効果は示されており、今年度から倉敷市の行う乳癌検診は40歳以上のすべての女性を対象に、マンモグラフィーを用いて行うようになっています。マンモグラフィー診断では乳腺濃度が高いほど感度（病気の人が病気だとわかる割合）、特異度（病気でない人が病気でないとわかる割合）ともに低下することが知られており、乳腺濃度を乳房にしめる脂肪の比率が多い順に、脂肪性乳腺、乳腺散在、不均一高濃度乳腺、高濃度乳腺と分類した時の、不均一高濃度乳腺ないし高濃度乳腺の人の割合は、日本人の場合40代で7割、50代でも5割にのぼるとの報告があります。日本でのマンモグラフィー検診における感度は、脂肪性乳腺90.7%、乳腺散在78.9%、不均一高濃度68.3%、高濃度乳腺51%と報告されています。つまり乳腺濃度の高い方が多い40代女性を対象にしたマンモグラフィー検診には、いまだ課題が残っているのです。

対策としてリスクの高い対象者に対して複数の検査方法を組み合わせることで検診の精度を上げることができないかと議論されており、MRI、超音波とともに候補として挙げられるのが乳腺トモシンセス検査です。これは近年登場した直接画像取り込みを行うことのできる完全デジタルマンモグラフィ装置を用いて、一度に連続した数回のマンモグラフィ撮影を行い、コンピュータで計算して乳腺の3次元データを取り出すことのできる新しいマンモグラフィ検査のことです。新型の撮影装置は改良されて撮影に必要なX線量も劇的に少なくなるため、従来のマンモグラフィに比べて、よりくわしいデータをとりながらも被ばく線量も増えていません。従来型のマンモグラフィとの比較では乳癌の検出率が30%近く改善し、再検査率が15%程度低下させるとのデータも示されています。まだ普及しておらず国内での検証が十分ではないのですが、若い女性のスクリーニングに威力を発揮するものと期待されている新技術です。当院ではこのトモシンセス検査ができる新型マンモグラフィ装置を新病院開院にあわせて導入します。通常マンモグラフィ撮影装置としても高性能ですので、年齢が高く乳腺濃度の低い方では被ばく線量を減らしながらもこれまで以上に診断精度の高い検査ができます。そして40代女性および過去に乳腺濃度が高いと指摘された女性に対しては、検診から精密検査のいずれの段階においてもトモシンセス検査を行っていくことができるようになります。

外科医長 川崎 伸弘

「第10回 トワイライトセミナー」

H29年9月14日 午後6時より、当院形成外科小山医長、フットケア外来担当看護師坂本により「爪のミカタ」と題して第10回トワイライトセミナーを開催しました。

参加者からは「爪の知識が広がった」「爪の切り方が分かった」「実演が勉強になった」との評価を頂きました。今後の職務に活かせるかについての質問に対しても16人中15人より大いに活かせるとの回答をいただき、「爪きりに対して再認識する事ができ、これからのケアに役立たい」「利用者さんの爪きりに参考になった」「爪で悩む人の手助けができたと思う」「大変新鮮な情報が多く、楽しい講義だった」とのご意見をいただき、有意義な研修会ができたのではないかと思います。

本日参加できなかったスタッフへもぜひ研修を聞いてもらいたいとお声もいただき、来年1月に「爪のミカタ・パート2」を開催する事としました。今後も医療や介護に関わる方のお役に立てるよう企画していきたいと思っております。是非ご参加ください。



新入職員紹介

看護部 西田 かおり

私は慢性期病棟の経験が主でしたので、市民病院でいろいろな分野の知識と技術を身につけたいと思っています。患者様、ご家族様との信頼関係を大切にをモットーに1日も早く仕事に慣れ、貢献したいと思います。宜しくお願い致します。

看護部 姫野 美香

10月より市民病院に勤務することになりました。通勤時間が長くなりますが、好きな音楽を聞きながら、季節の変化を楽しみながら長距離のドライブを有意義に過ごしたいと思っています。年齢を重ねていますが、今までの看護経験だけではなく、人生経験も生かして、みのある看護ができる様、頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。

看護部 荒木 恭子

私は、耳鼻科・眼科・消化器外科病棟での勤務経験があります。いつも笑顔で患者さんに寄り添った看護をしたいと思って働いています。そのために知らない分野でも積極的に学び、日々努力して理解していきたいです。地元でもある児島で働けることを嬉しく思っています。至らない点もありますが宜しくお願い致します。

看護部 片山 裕子

昨年の春にこの市民病院に就職し4東病棟に配属になり、今年2年目になります。持ち前の明るさが一番のセールスポイントです。患者様の身に起きた変化にも根気強く寄り添い明るく日常生活を取り戻すお手伝いをさせて頂きたいと思っています。そのためにもまず自分が元気で明るくいられる事が大事だと考え日々意識して自分を整える努力をしています。患者様の活力となれるよう貢献したいと思っています。よろしく宜しくお願い致します。

看護部 奥田 千愛

私は以前は小児科病棟で少しだけ働いておりましたが、今年の4月に資格を取得したばかりの新人です。

環境も変わり対象とする患者さんも違う病棟での勤務でわからないことだらけの毎日ですが、日々勉強だと思って頑張っていきたいと思っております。育児と仕事との両立でいっぱいになってしまうこともあるとおもいますが、これから精一杯力を尽くしていきたいと思っています。

リハビリテーション科 寺西 竜

作業療法士の寺西竜です。新病院が来年度には開院されるため、1日も早く仕事に慣れ、また地域の皆様に頼りにされる職員、病院となれるよう日々頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



栄養だより

「冬に多いノロウイルス！食中毒にご用心！！」

今年の夏には惣菜店のおかずを食べて、3歳の女児が亡くなるという悲しい事件がありました。腸管出血性大腸菌 O-157 の食中毒です。食中毒の発生は夏に多いわけではなく、1年中同じくらいの件数が発生しています。昨年は1年間で食中毒が1139件発生していますが、その内の354件がノロウイルスによる食中毒で、原因物質の第1位を占めています。ノロウイルスは11月から増え始め1月ごろにピークを迎える傾向がありますので、これからの冬にかけて、抵抗力の弱いお子さんやお年寄りには特に注意が必要です。

☆ノロウイルスの感染原因

- ・ 調理者を通じた食品の汚染によって発生することが多い。
(患者のノロウイルスが大量に含まれるふん便や吐物から人の手を介して二次感染する)
- ・ ノロウイルスに汚染された2枚貝 (カキ・アサリ・ホタテなど) を 生又は加熱不足 で食べた場合など



☆ノロウイルスの予防

- ・ **手洗いを徹底する。**
- ・ 食品の加熱を十分にする。
(中心部を 85~90℃以上 90秒以上の加熱 でウイルスは活性を失う)
- ・ 洗浄・消毒をした食器や調理器具を使う。



☆食中毒予防の3原則

食中毒菌を「**付けない、増やさない、やっつける**」

食中毒防止の基本の手洗い

① 水で洗う



② 石鹸を泡立てる



③ 手の甲を洗う



④ 指の間をしっかりと



⑤ 指先・つめも



⑥ 親指の付け根も洗う



⑦ 流水で洗い流す



⑧ 清潔なタオルで拭く



30秒以上の手洗いで細菌の数が減ります。30秒は思った以上に長いです。丁寧な手洗いを心掛けましょう。



社会福祉法人 鷺山会

老人保健施設 倉敷シルバーナーシングホーム

施設長 中山 朝夫 先生

社会福祉法人鷺山会として、昭和 63 年 9 月 15 日に児島で 2 つ目となる特別養護老人ホームを開設以降、地域のニーズや要請を受け事業展開をする中で、平成 10 年 10 月 1 日に「老人保健施設 倉敷シルバーナーシングホーム」を開設いたしました。

今年 9 月 15 日には、法人創立 30 周年を迎え、「ひと、かがやく介護」の理念の下、ご利用者、ご家族、地域と共に職員もかがやく、皆様から愛され、必要とされる施設を目指しています。

次年度の介護保険改定では、老人保健施設が地域福祉・地域医療に必要不可欠な存在としての役割が更に明確になります。倉敷シルバーナーシングホームでは、平成 23 年 4 月 1 日に全室個室のユニット型 20 床の増床など、先行的に大幅な設備改修も行い、幅広い要望にお応えできる体制づくりを着実に進めております。

通いでリハビリを行う、デイケアから特別養護老人ホームまで、多様な事業が併設され、柔軟な対応がとれることも、ご高齢のご利用者には安心いただける強みと考えています。

常勤の医師や夜勤の看護師がいることで安心した生活の場を提供しながらも、急変時には児島市民病院様をはじめ、近隣の病院の皆様を支えて頂いております。紙面をお借りして感謝申し上げます。

地域の病院から在宅や高齢者施設への橋渡しを安心して任せて頂けるよう、児島地区の連携の輪の中で、少しでも皆様のお役に立てるよう精進していきたいと考えております。

このような機会をお与え頂きました児島市民病院様に深謝いたします。



住所：倉敷市児島柳田町 355-1

TEL：086-473-8810

発行者：倉敷市立児島市民病院

住所：〒711-0921 倉敷市児島駅前2丁目39番地

TEL：086-472-8111（代表）FAX：086-472-8134（連携室直通）

<http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kojimahospital/>（児島市民病院で検索）

外来診療予定表

平成29年11月1日～

※都合により、担当医師が変更または不在のこともありますので、ご了承下さい。

※予約は受診希望日の前日（土・日・祝日除く）までにお願ひします。

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合内科 呼吸器内科	午前	院長 江田 良輔 近藤 正太郎 後藤田 裕子	金澤 潔 近藤 正太郎 後藤田 裕子	院長 江田 良輔 近藤 正太郎 大山 淳史	院長 江田 良輔 金澤 潔 後藤田 裕子 大橋 圭明	金澤 潔 近藤 正太郎 後藤田 裕子 院長 江田 良輔 ※紹介のみ診療 11:30から	※第1・3のみ 担当医 受付8:30～11:30
	午後	禁煙外来 院長 江田 良輔 予約制 14:00～16:00	睡眠時無呼吸外来 アレルギー外来 院長 江田 良輔 予約制 14:00～16:30		糖尿病外来 金澤 潔 予約制 14:00～16:00	COPD（肺気腫）外来 呼吸器検診（肺ドック） 院長 江田 良輔 予約制 14:00～16:00	
消化器内科	午前	栗山 宗彰 第1・3・5月曜日 肝臓外来 能祖 一裕 診療 9:00～12:00		栗山 宗彰		栗山 宗彰	
	午後			肝臓外来 大山 淳史			
循環器内科	午前		岡山大学病院教授 森田 宏 診療 9:00から	河合 勇介	加藤 忠彦	森田 志保	
	午後		森田 宏				
緩和ケア内科	午前	古口 契児	古口 契児			古口 契児	
	午後	古口 契児 診療 15:00～16:30		古口 契児			
脳神経外科	午後	徳永 浩司 脳検診受付 診療 14:00～17:00				第1・3・5金曜日 藤井 謙太郎 診療 14:00～16:30 第4金曜日 村山 佳則 予約制 14:00～16:00	
	午前	木下 茂喜 川崎 伸弘 在宅栄養サポート外来 木下 茂喜 受付 9:00～11:00 乳癌甲狀腺外来 ※予約と紹介のみ診療 川崎 伸弘 受付 14:00～15:30 (手術の場合は休診)	岡野 和雄 診療 11:00まで 岡山大学医師	岡野 和雄 川崎 伸弘	木下 茂喜 診療 11:00まで 川崎 伸弘	岡野 和雄 木下 茂喜 午後 岡野 和雄 予約制 14:00～16:00 (手術の場合は休診)	
整形外科 リウマチ科	午前	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆 鉄水 倫子 (診療 9:00から)	副院長 竹井 義隆 鉄水 倫子 (診療 9:00から)	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆	※第1・3のみ 担当医 受付8:30～11:30
	午後	リウマチ外来 月～金曜日 副院長 竹井 義隆					
形成外科	午前	篠山 美香 小山 晃子	予約制 篠山 美香 小山 晃子	篠山 美香	篠山 美香 小山 晃子	小山 晃子	
	午後	篠山 美香 予約制			フットケア外来 小山 晃子 予約制 14:00～16:00		
産婦人科 ※外来診療変更の 可能性あり ①初産診・産後診 ②再診・産後診	午前	① 高取 明正 ② 多賀 茂樹	岩永 優子 診療 9:00～12:00	① 多賀 茂樹 ② 高取 明正	① 高取 明正 ② 多賀 茂樹	① 多賀 茂樹 ② 高取 明正	
	午後	高取 明正 多賀 茂樹	高取 又は 多賀 岩永 優子	多賀 茂樹 高取 明正	高取 明正 多賀 茂樹	多賀 茂樹 高取 明正	
妊婦 健診 (受付時間)	8:40～10:30 14:00～15:00	8:40～10:30 14:00～15:00	8:40～10:30 14:00～15:00	8:40～10:30 14:00～15:00	8:40～10:30 14:00～15:00	8:40～10:30 14:00～15:00	
小児科	午前	寺岡 通雄 岡山 良樹	木村 祥子 岡山 良樹	寺岡 通雄 木村 祥子	岡山 良樹 担当医	寺岡 通雄 木村 祥子	※第1・3のみ 担当医 受付8:30～11:30
	午後	乳児健診 担当医 予約制 13:00～14:00	乳児健診 担当医 予約制 13:00～14:00 低身長・おねしょ外来 寺岡 通雄 予約制 14:00～15:00	発達相談 木村 祥子 予約制 14:00～15:00	予防接種 担当医 予約制 13:00～14:00	予防接種 担当医 予約制 13:00～14:00 アレルギー外来 岡山 良樹 予約制 14:00～15:00	
	救急 外来	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	小児神経			第1・3・5水曜日 岡山大 学医師 予約制 暹羅 文香 第2・4水曜日 岡 牧郎 10:00～16:00			
泌尿器科	午前	副院長 入江 伸	副院長 入江 伸	副院長 入江 伸	副院長 入江 伸 第2週は休診	副院長 入江 伸	
	午後		副院長 入江 伸			副院長 入江 伸	
眼科	午前			森實 祐基 予約制 9:00～12:30		細川 海音 予約制 9:00から	
	午後					細川 海音 (予約制) 受付 15:30まで	
耳鼻 いんこう科	午前	草場 隆	草場 隆	草場 隆	草場 隆	草場 隆	
	午後	草場 隆	嚙下外来 予約制 14:00～16:00	草場 隆	嚙下外来 予約制 14:00～16:00	草場 隆	
放射線科	午前	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	
	午後	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	井上 信浩	
アレルギー科		寺岡・草場・岡山 予約制 14:00～16:00					
リハビリテーション科	午前・午後	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆	副院長 竹井 義隆	

【受付時間】 午前8:00～11:30 午後1:30～4:00 ※表中に時間があるものを除く
 【診療時間】 午前8:30～12:00 午後2:00～4:30
 但し、急患の場合はこの限りではありません。
 外科・整形外科：午後、外科系医師の救急対応になります。
 (手術等で対応出来ないことがあります。)

倉敷市立児島市民病院
〒711-0921 岡山県倉敷市児島駅前2丁目39番地
TEL:086-472-8111 FAX:086-472-8116
 外来診療予約ダイヤル 086-472-8117 (※お手元に診察券をご用意ください)
 受付：月曜日～金曜日8:30～17:00
 ※初診は予約が出来ません(形成外科、眼科、脳神経外科除く)